



アンコールワットひっそり

コロナ禍、KEAF 奨学生に不安も

EUの経済制裁に追い打ち

池内 秀樹

新型コロナウイルス禍の騒ぎのなかで、あまり注目されなかったが、欧州連合 (EU) は 2 月、カンボジア製品輸入時の優遇関税を一部停止すると発表した。新型コロナウイルスの感染拡大で、アンコールワット観光などの中国人観光客の予約取り消しが相次いでおり、そこに 8 月からは EU の優遇関税一部停止が実施段階に入るの、カンボジア経済は厳しい状況を迎えている。

野党弾圧・人権抑圧に批判

EU の優遇関税は、発展が遅れた国を対象に税や割り当て量を課さずに商品を輸入する制度 (EBA) で、これはカンボジアにも適用されていた。しかしフン・セン政権が 2017 年末、最大野党「救国党」の強制的な解党と指導者の逮捕に踏み切ったため、懸念した

EU はこの状況を把握するために代表団をカンボジアに派遣し、ざっと 1 年かけて検討してきた。

優遇関税の一部停止発表のなかで「EU は民主主義がむしろ、人権が制約され、自由な議論が沈黙させられていることを座視しないだろう」とその理由を述べている。

カンボジアの輸出先として最大の EU (2018 年 45%) のこの措置が実施されれば、EU 向け輸出の 20%



写真：アンコールワット 1 階回廊の壁に掘り込まれているチャンバとの戦争の図。

に適用され、その損失は 11 億ドルに上る (試算) という深刻な事態を迎えるかもしれない。

元奨学生の不安を懸念

カンボジア経済の柱としては農業、観光、建設、服飾の 4 つが挙げられるが、服飾産業を支えているのは、地方から出稼ぎに来て縫製業などに携わる若い女性たちだ。プノンペン周辺に急ごしらえで建てられたアパート群に住み、最低賃金こそ最近では月額 120 ドルとい

われてはいるものの、仲介業者の搾取、アパート代、生活費などを差し引くと手取りは仕送りもままならないほどだといわれる(左の写真はプノンペン経済特区の縫製工場で働く若い女性たち)。

それでも KEAF の奨学金で勉強していた女生徒が、家計を助けるために中途退学してプノンペン

の縫製工場に就職して行ったという話を毎年訪問のたびに聞く。彼女たちは将来に一層の不安を感じているのではないかと懸念される。



クルーズ船寄港受け入れ

中国寄り一層鮮明に

池内 秀樹

新型コロナウイルスの感染拡大という予想もしなかった災害のなかで、各国とも感染拡大阻止・封じ込めに必死だが、カンボジアだけはここぞとばかり、中国全面支援という特異な対応を示して、中国とカンボジアの緊密な関係をはっきりと浮き彫りにさせた。テレビや新聞などで、この動きがしばしば報道されているが、あらためて感染発生以来のこれまでを振り返りその背景を探ってみたい。

感染拡大中に訪中

カンボジアのフン・セン首相は感染拡大が進む2月初め、災害発生以来、初の外国首脳として、突如、中国を訪問、習近平国家主席と会見した。首相は「新型コロナウイルスを恐れていないからこそ訪中した。恐ろしいのはウイルスの蔓延ではなく、パニックに陥ることだ」と表明「困難に直面する時期にこそ、両国の緊密な関係を強固にしたい」と述べた。

習主席は「中国滞在中のカンボジア国民の生命と健康

を守りましょう」と謝意を示した。首相は会談に先立って中国側提供のマスクの着用を断り、また自ら、ウイルス発源地の武漢をも訪問したいと申し出たが、中国側は丁重に断ったという。

カンボジアはしたがって、中国への渡航制限はせず、カンボジア帰国のための航空機派遣もしていない。それどころか、日本などに入港できないでいた香港発の観光クルーズ船「ウエステルダム」の受け入れを認め、クルーズ船はカンボジアのシアヌークビルに到着、乗客らの上陸を認めた（写真）。



中国から帰国したフン・セン首相は乗客を出迎え「ようこそカンボジアへ。もう心配はない」と話しかけたという。カンボジアに近い方針を出したのは、パキスタンだけ。パキスタンも2月に中国への、また中国からの飛行便を再開した。

外資の7割は中国とも

カンボジア復興のため投入された外資は2016年までの23年間の累計で、中国は122.5億ドル（約1.3兆円）と群を抜いて第1位。総じて外資の7割は中国と言われるほどだ。約16億ドルの日本は6位となった。また政府の援助額でもカンボジア開発評議会（CDC）によると、2010年の中国の援助額は約1億5400万ドルに上り日本を抜いてトップに立った。

これを反映して、プノンペン市内は年ごとに変貌を遂げ、高層ビルが次々と建設されたり、建設中だったりするが、そのかなりは中国系資本。フン・セン政権はこれらの中国系外資・援助に支えられているといえよう。

2018年の総選挙では、最大野党の救国党を強権で解党に追い込み、全議席を首相の人民党が占めるという強気の一党独裁体制を確立した。

国際社会、とりわけ、欧州連合（EU）、米国はこうした状況に懸念を強め、EUは2月、事実上の経済制裁を発動した。フン・セン首相はこの動きに「内政干渉」だと反発、この面でも中国依存度を一層強めている。

「国家再建」の理念何処に

インドシナ戦争に巻き込まれるまでのカンボジアは、シアヌーク国王が「非同盟主義」を掲げて大国のはざまで一國に偏ることを避け、米国とも、中国とも、当時のソ連とも距離をおく綱渡り中立外交を展開した（6頁下段へ続く）

ありがとうございました (2019年11月21日～2020年2月20日)

年会費、寄付金、奨学金を振り込みくださった方々に厚くお礼を申し上げます(敬称略させていただきます)

(東京) (神奈川) (大阪) (神奈川) (東京) (東京)
 (東京) (大阪) (東京) (神奈川)
 (東京) (千葉) (東京) (大阪) (千葉) (群馬)
 (東京) (千葉) (神奈川) (神奈川) (長野)
 (兵庫) (兵庫) (神奈川) (東京) (東京) (東京)
 (埼玉) (神奈川) (東京) (東京) (東京)
 (東京) (千葉) (東京) (神奈川) (東京) (東京)
 (埼玉) (東京) ※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています。※奨学生紹介の3～5頁は個人情報保護のため省略

◇物品支援ありがとうございました

」(東京):デジカメ1台

結婚おめでとう

ございます

ナットさん

ミランダさん



私たちのカンボジア現地での支援活動を支えてくれるナットさんが4月に結婚しました。新婦はタム・ミランダさん。新婚旅行は日本へと決めていて、私たちは歓迎の準備に取り掛かっていたのですが、思わぬ新型コロナウイルスの蔓延で秋か年末に延期になりました。

ナットさんは2007年に私(金子)がカンボジアの子どもの支援活動に本格的に取り組み始めたときに、案内役を務めてくれた公認日本語ガイド、オウン・ソワンさんの義弟です。ミランダさんも、ナットさんがボクより上というほど日本語が上手だそうです。

ナットさんはソワンさんのもとのカンボジアの最高学府プノンペン大学日本語学科をトップで卒業、2012年に皇太子殿下(現天皇陛下)が同大学を訪問した時に、学生代表として日本語で歓迎の挨拶をしました。ミランダさんも大学で日本語を学び、日系の有力企業で働いてきました。その仕事の縁で知り合ったそうです。

ソワン夫人のソフィアットさんもやはり日本語学科卒業

(2頁からの続き⇒) 国家再建の理念何処に

しかし、当時の北ベトナムが南ベトナム解放の対米戦争のためにベトナム国境に接するカンボジア領内を、いわゆるホーチミン・ルートとして利用するのを黙認せざるを得ない状況だった。ニクソン米大統領がカンボジアへの軍事介入に踏み切り、シアヌーク国王は中国への亡命を余儀なくされ、シアヌーク外交はこの時点で破綻してしまったという経緯がある。

波尔・ポト政権の崩壊(1979年)で内戦が続き、1991年、国連の安全保障理事会の常任理事国5カ国や日本を含む18か国が署名したパリ和平協定の下でカンボジアの再建が始まった。その理念は自由で多元的な民主主義国家の建設を保証したものだったが、その理想は今や忘れ去られ、「非同盟」も全く死語と化してしまった。フン・セン首相は2年前の総選挙後、「あと10年は首相を務める」と言っており、その下で中国傾斜は一層、強まりそうな様相だ。

という親日ファミリーにまた1人、有力メンバーが加わりました(金子)。

写真は結婚式の新郎と新婦。衣装は伝統的なカンボジアの礼服で、ゆったりした膝下までのズボンが特徴的です。

